

2022年8月21日

2023年度 大学院経営管理研究科

経営管理専攻 修士課程

入学試験（研究者養成コース）

【小論文試験問題】

以下の文章は、アビジット・V・バナジー、エステル・デュフロ著『絶望を希望に変える経済学』から抜粋したものである（抜粋に際して、一部の小見出しを省略するとともに、文章の一部を改変している）。

この文章を読んで、以下の全ての問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- (1) 以下の【説明文】は、下線部（A）の「三段論法」を図2-1をもとに説明した文章である。空欄①から⑦に入る最も適切な言葉をそれぞれ(ア)から(サ)の中から1つ選んで、該当する記号で答えなさい。なお、同じ記号を繰り返して選んでもよい。

【説明文】

①の賃金水準は②の賃金水準よりも高い。お金を稼ぐために、賃金水準の③国に人々が移動するため、移民の受入国の④は⑤にシフトする。④が⑤にシフトするため、⑥の賃金水準は⑦。

(ア)高い (イ)低い (ウ)労働需要曲線 (エ)労働供給曲線 (オ)移民の出身国
(カ)移民の受入国 (キ)右 (ク)左 (ケ)上がる (コ)下がる (サ)変化しない

- (2) 下線部（C）に関して、因果関係を立証する際に、①そのような単純比較がなぜ問題であるか、②下線部（D）の「永住ビザの抽選」がその問題をなぜ解決するのか、③文章中にある研究結果をもとに「移民すると収入が増える」という因果関係が成立すると言えるかどうか、について合わせて400字以内で説明しなさい。

(3) 下線部(E)に関して、第二の要因と第三の要因において関連する点と異なる点を合わせて 200 字以内で説明しなさい。

(4) 下線部(B)について、筆者がまちがっていると考える理由とその根拠を 500 字以内で説明しなさい。

【文章】

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章・図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章・図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：アビジット・V・バナジー、エステル・デュフロ著『絶望を希望に変える経済学』日本経済新聞出版、2020年、pp.23-43。